

2024年度 第2回町田市立博物館運営委員会 議事録（要旨）

- 1 開催日時：2025年1月27日（月）午後2時～4時
- 2 会 場：町田市役所本庁舎8－1会議室（リモート併催）
- 3 配布資料：
 - 資料1－1 2024年度の事業
 - 資料1－2 2024年度の事業（写真）
 - 資料2 2025年度の事業予定

4 出席者：【委員】

井上 暁子	委員長	今井 敦	副委員長	原田 一敏	委員
椿 敏幸	委員	宮原 裕美	委員	伊藤 嘉章	博物館館長

5 議 題（報告）

（1）報告－1 2024年度の事業＜資料1－1、1－2＞

- 事務局 未実施のものもあるが、今年度は展示2件、展示関連イベント2件、体験講座16件、ブース出展4件、学校連携3件、作品貸出3件を実施した。
- 委 員 展示関連イベント「500年前の茶碗にさわってみよう！」の年齢層はどうだったか。
- 事務局 版画美術館の小学校作品展と同時期に開催したため、子どもの参加もあった。事前広報をみての参加は大人が多く、飛び入りは子どもが多かった。飛び入りを可にしたことで 幅広い年齢層に参加いただけた。中高生の参加はほとんどなかった。
- 委 員 催事の1週間前には中学校作品展を開催していた。これと重なれば中学生の参加もあり面白かったか。
- 委 員 一番美術館に来ないのは中学生。この層に来てもらえるように工夫が必要。
- 委 員 展示関連のパンフレットを楽しく拝見した。このような工夫があると最後まで読むことができる。
- 事務局 実際にお茶を始めてみようかなという方もいた。

（2）報告－2 2025年度の事業予定＜資料2＞

- 事務局 予算は内示段階だが、予定していたものについては通り、特段の変更はない。展示2件、体験講座11件、ブース出展2件、学校連携3件、作品貸出1件を実施予定である。
- 委 員 今年度に続いて来年度も開催する体験講座について、改良点などはあるか。
- 事務局 たとえば今年、体験講座「オリジナルのごはん茶碗をつくろう！」を開催したが、それを楕円にして大きくしたらどうかということで、夏にカレー皿の講座を予定している。ご飯茶碗についても、新米の季節に合わせて開催した。季節感などを

取り入れながら改良している。

委 員 広報にそういうものを生かして欲しい。夏だからカレー皿など。

委 員 実際にみんなで使ってというイベントも良いのではないか。

事務局 数年前に東京家政学院大学とのコラボで、大皿を作って実際にご飯を盛り付けるという講座を行った。その後コロナで飲食を伴う講座が難しくなり、途絶えてしまっている。工芸なので使うというところまで見据えたプログラムを行っていききたい。来年度以降について、これから講師と内容を詰めていくなかで、さらに検討していきたい。

委 員 体験という話であったが、触れるというのではないのか。展覧会関連催事で行ったように、今後も継続できたら良いのではないか。

事務局 今後学校連携のなかで所蔵作品を使ってみたいという話はでている。

委 員 資料には記載されていないが、そういった機会はあるということか。

事務局 おっしゃる通りです。以前から後世に伝えるべき作品と、今現在使えるものを分けて考えようという話がでている。持ち出し可能な作品については、今後そういった利用も考えていきたい。

委 員 食文化、たとえばスパイスを入れる容器、食器、その他道具などを関連づけて展示することがあれば、そういった催事もありうるのではないか。

事務局 飲料容器も用途によりガラスのかたちは異なる。飲み比べの催事などの話もでている。

(3) その他

事務局 (仮称) 町田市立国際工芸美術館について工事の入札があり、仮契約を行った。現在、今後の手続きを進めている。

委 員 具体的な竣工はいつか。

事務局 2027年を予定している

委 員 からの期間も入れて2027年か。夏を2回越さなければいけないのでは。

事務局 モニタリングを行いながら進める。指定品については1年間借りられない状態となる。関係各所と調整しながら進めてまいる。

事務局 本日いただいたご意見をもとに、今後の博物館の運営を行っていく。

委員長 これをもって閉会とする。